



南部九州総体終わる

夏休み中、熊本、鹿児島、宮崎、沖縄の4県で開催された南部九州総体が無事終わりました。3年以上前から準備を進め、大会関係者の方々のご苦労は大変だったことと思います。万全の準備のおかげで、熊本県で開催された各競技は大成功のうちに終了したと聞いています。試合だけでなく、熊本での観光も満喫していただき、多くの選手、役員、応援の方々が「おもてなしの熊本県」を実感されたことと思います。

本校からも、先生方が役員として、生徒は高校生活動推進委員会を中心に、いろいろな形で大会を支えました。バドミントン部、剣道部、水泳部、テニス部、野球部、放送部等、大会の補助員として活躍してくれました。その中で、3年9組の古田晴夏さんが、剣道競技の開会式で、地元生徒代表として歓迎の言葉を述べました。数千人の観衆を前に、堂々と、明るく、笑顔で行った古田さんの挨拶に、選手、役員、観客の皆さんが大変感動されていました。中には感動して涙が出たと言われた役員の方もおられました。競技だけに限らず、いろいろな場面で本県高校生のパワーが発揮された大会でした。



歓迎の言葉を述べる古田さん

ICTを活用

ICTを活用した授業を体育科の目標として掲げていますが、先日、1年女子ハードルの授業でフォームチェックの時間を設け、タイミングの取り方等を確認しました。映像を使っの授業は、設備と時間数の関係でなかなか時間をとることができませんが、体育館の授業ではできる範囲で行っていききたいと思います。ICTの活用は一斉指導では効果的です。授業時は、全体の映像を見た後、陸上部の生徒に模範で走ってもらいました。自分たちのフォームと比較することで、さらに学習を深めることができました。



本校では、情報分析や動作解析のために多くの部活動でICTを活用されています。授業の質が上がり、技術が身につくのも、部活動で競技力が上がるのも、ICTは欠かせないものです。

新人戦が始まっています

この時期各部活動で新人戦が始まっています。先日行われた陸上の新人戦では、各種目で上位を独占し、史上最高得点で総合優勝を飾りました。野球部は惜しくも敗れましたが、他の部活動も大会が始まります。今年は弓道部やソフトテニス部、テニス部の活躍も素晴らしく、大いに期待が持てます。お互いが切磋琢磨して、「スポーツで輝く熊商づくり」を目指し、一つでも多くの運動部が全国大会に出場してくれることを願っています。



総合優勝した陸上部